

映画 の 教室 2008



赤西颯太

2008年 10月31日(金) - 11月16日(日)

※金曜日・土曜日・日曜日の上映となります。

東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

開映後の入場はできません。

定員=151名(各回入替制)

発券=地下1階受付

料金=大学・高校生**300円**

一般**500円**/シニア**300円**/小・中学生**100円**/障害者(付添者は原則1名まで)は無料

・観覧券は当日・当該回にのみ有効です。

・発券・開場は開映の**30分**前から行い、定員に達し次第締切となります。

・学生、シニア(65歳以上)、障害者の方は、証明できるものをご提示ください。

・発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo

N	京	橋
F	映	画
C	小	劇
小ホール	場	
KYOBASHI-ZA		No.12

小ホール 上映作品

映画の教室2008
Film Class of 2008

映画史を飾る古典的な作品をフィルム上映で鑑賞する機会が減少している中、フィルムセンターは、新たに映画芸術に触れようとする方々を主なターゲットとして、所蔵作品の中から映画を学ぶ上で重要な秀作を上映する「映画の教室」を今年も開催します。《京橋映画小劇場》第12回企画となるこの「映画の教室2008」では、外国映画9本、日本映画3本の計12作品を上映いたします。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

- 監督 (監) 原作・原案 (原) 脚本・脚色 (脚) 撮影 (撮)
- 美術 (美) 音楽 (音) 出演 (出)
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 記載した上映分数は、当日のものと多少異なることがあります。

◆外国映画

1 10/31(金)2:00pm 11/8(土)3:00pm

ジオルジュ・メリエス作品集(計64分)

映画のトリックを巧みに用いて、H・G・ウェルズやジュール・ヴェルヌなどの作品をヒントに壮大なファンタジーを創出し、SF映画における先駆者としても歴史的に高く評価されているジオルジュ・メリエス。1902年製作の『月世界旅行』は、満月の眼に大砲の弾がめり込むシーンとともに最も世に知られている作品の一つである。豊かなイマジネーションを映像化し一世を風靡したメリエスは、1912年を境に映画製作を停止するが、『極地征服』『シンデレラ』『雪の騎士』は、その直前にシャルル・パテの依頼で製作された作品。

月世界旅行(10分・18fps・16mm・無声・白黒)

LE VOYAGE DANS LA LUNE

'02(フランス) (監) ジオルジュ・メリエス

極地征服(8分・18fps・35mm・無声・染色)

À LA CONQUÊTE DU PÔLE

'12(フランス) (監) ジオルジュ・メリエス (脚) フェルナンド・アルバニー

シンデレラ(27分・18fps・35mm・無声・染色)

CENDRILLON OU LA PANTOUFLE MERVEILLEUSE

'12(フランス) (監) ジオルジュ・メリエス (脚) ジャック・フェデー、ルイーズ・ラグランジェ

雪の騎士(19分・18fps・35mm・無声・染色)

LE CHEVALIER DES NEIGES

'12(フランス) (監) ジオルジュ・メリエス

2 10/31(金)6:00pm 11/9(日)0:00pm

朝から夜中まで

(69分・18fps・35mm・無声・白黒)

VON MORGENS BIS MITTERNACHTS

デフォルメされた抽象的な空間、様式化された役者の演技や衣裳によっていびつな世界を描き出した表現主義映画の傑作。若い女に魅せられ、大金を着服して身を滅ぼす銀行の出納係の物語。撮影のカール・ホフマンはこの後『ドクトル・マブゼ』(1922年)をはじめとするフリッツ・ラング作品を手がけることとなる。

'21(ドイツ) (監) カール・ハイムツ・マルティン (脚) ゲオルク・カイザー (脚) ヘルバート・ユトケ (脚) カール・ホフマン (脚) ロベルト・ネッパハ (脚) エルンスト・ドイッチェ、エルナ・モレナ、ローマ・バーン、アドルフ・エドガー・リホ、フリーダ・リヒルト

3 11/2(日)3:00pm 11/14(金)6:00pm

十月(106分・24fps・35mm・無声・白黒)

ОКТАБРЬ

『戦艦ポチョムキン』に続くエイゼンシュテインの長篇第3作。1917年2月の「二月革命」による臨時政府の樹立から11月7日(露歴10月25日)に赤軍の冬宮攻略で「十月革命」が成立するまでの過程を巨大なスケールで再現。神々の偶像を並列的に提示したシーンなど「知的モンタージュ」の実験も随所に見られる。

'28(ソ連) (監) セルゲイ・エイゼンシュテイン、グリゴリー・アレクサンドロフ (脚) エドゥアルド・ティッセ (脚) フィリッポ・コヴリギン (脚) フリデリク・ニコラエフ、ウラジーミル・ボポフ、ボリス・リヴァノフ

4 11/1(土)0:00pm 11/9(日)3:00pm

脱走者(106分・35mm・白黒) ДЕЗЕРТИР

『母』(1926年)や『アジアの嵐』(1928年)などの作品で、エイゼンシュテインと並び称されるロシアの巨匠フセヴォロド・プドフキン監督のトーキー映画第1作。ヒトラーが政権につく直前1932年のドイツ・ハンブルグが舞台。ストライキに疲れた若者は逃避のために労働者代表としてソ連へ向かうが、ある日その心境を一変させる一つの知らせを受ける。

'33(ソ連) (監) フセヴォロド・プドフキン (脚) ニーナ・アガジャノワ (脚) シュコト、M・クラスノストフスキー、A・ラゼブニコフ (脚) アナトリー・ゴロヴニヤ、ユーリー・フォーゲリマン (脚) セルゲイ・コスロフスキー (脚) ユーリー・シャポリン (脚) ボリス・リヴァノフ、ワシリー・コヴリギン、アンドレイ・チスチャコフ、タマラ・マカーロワ、セミョーン・スワシェンコ、D・コンノフスキー

5 11/1(土)3:00pm 11/14(金)2:00pm

もだえ(101分・35mm・白黒) HETS

残忍で異常な人格の教師に目をつけられる高校生ヤン＝エーリクは、雑貨屋で働く娘に恋心を抱くようになるが…。脚本は、監督デビュー前のスウェーデンの巨匠イングマール・ベルイマンが手がけた。監督のアルフ・シェーベルは、1951年の『令嬢ジュリー』でカンヌ国際映画祭グランプリを受賞することとなる。

'44(スウェーデン) (監) アルフ・シェーベル (脚) イングマール・ベルイマン (脚) マルティン・ポディン (脚) アルネ・オーケルマルク (脚) ヒルディング・ローセンベリ (脚) スティグ・イェレル、アルフ・チェーリン、マイ・セッテルリグ

6 11/2(日)0:00pm 11/15(土)0:00pm

沈黙(93分・35mm・白黒) TYSTNADEN

独身の姉と子連れの妹はこぼれ通じない土地に逗留し、狭いホテルの一室で、二人は長年秘めてきた確執を顕わにしてゆく。限られた空間・人物構成、台詞により、女性の心理をむき出しにして見せ、日本ではセンセーショナルな作品として迎えられたベルイマン監督作品。『鏡の中にある如く』『冬の光』に続く「神の沈黙」三部作のうちの一つ。

'63(スウェーデン) (監) イングマール・ベルイマン (脚) スヴェン・ニクヴィスト (脚) P・A・ルンドグレン (脚) イングリッド・チューリン、グンエール・リンドプロム、ヨルゲン・リンドストロム



朝から夜中まで

◆日本映画

7 11/7(金)6:00pm 11/15(土)3:00pm

路上の靈魂(112分・18fps・35mm・白黒・無声)

夢を追って家出し、帰る場所を失った息子とその家族と、その一方で思わぬ親切を受け更正を誓う出獄者2人の対照的な運命が、D・W・グリフィスなどの影響を受けたクロス・カッティングの手法で描かれる。1920年に映画産業へ進出した松竹が、芸術的な映画の製作をすべく、新劇の改革運動の指導者・小山内薫を迎えて設立した「松竹キネマ研究所」の第1作で、日本映画の欧米化を推進する「純映画劇運動」の流れをくむ村田實の監督作品。

'21(松竹キネマ研究所) (監) 村田實 (脚) ウルヘルム・シュミット・ボン、マクシム・ゴリキー (脚) 牛原虚彦 (脚) 谷本又次郎 (脚) 溝口三郎 (脚) 小山内薫、英百合子、伊達龍子、東郷是也、久松三枝子、澤村春子、南光明、葛村繁、岡田宗太郎

8 11/8(土)0:00pm 11/16(日)0:00pm

赤西蠣太(78分・35mm・白黒)

幼馴染みの伊藤大輔の影響を受けて映画界入りし、『国士無双』(1932年)や『武道大鑑』(1934年)などとともに、独特な散文調の文体で高く評価された伊丹万作。本作は、1934年にいったん離れた千恵蔵プロから再び脚本と監督を依頼されて取り組んだもの。幼君暗殺の伊達騒動における赤西蠣太(千恵蔵)の活躍が、ユーモアたっぷりに描かれている。

'36(千恵蔵プロ) (監) 伊丹万作 (脚) 志賀直哉 (脚) 漆山裕茂 (脚) 清水香夫 (脚) 高橋半 (脚) 岡千恵蔵、瀬川路三郎、毛利峯子、上山草人、原健作、梅村容子、杉山昌三九、志村喬、関操

9 11/7(金)2:00pm 11/16(日)3:00pm

白痴(166分・35mm・白黒)

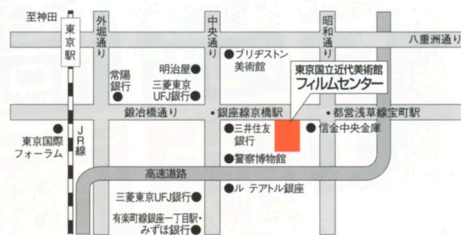
ドストエフスキーの名作を黒澤明が映画化した作品。ロシアの映画監督グリゴリー・コージンツェフに「古典を映画に再現した奇蹟である」と絶賛せしめた。札幌を舞台とし、ナスターシャを那須妙子(原)、ムイシケンを亀田欽司(森)、ラゴージンに赤間伝吉(三船敏郎)、アグラヤを大野綾子(久我)に置き換えて、激しい精神性に突き動かされる人間たちのドラマを描こうとした黒澤の野心作。

'51(松竹大船) (監) 黒澤明 (脚) ドストエフスキー (脚) 久板栄二郎 (脚) 生方敏夫 (脚) 松山崇 (脚) 早坂文雄 (脚) 原節子、森雅之、三船敏郎、久我美子、志村喬、東山千栄子、柳永二郎、千秋實、千石規子、高堂國典、左ト全

●《京橋映画小劇場》とは

平成18(2006)年度よりフィルムセンターは、それまで教育機関のための特別映写や一部の共催事業の会場として使用されてきた小ホールを、《京橋映画小劇場》(KYOBASHI-ZA)の名のもと、年に数回、フィルムセンターの主催上映企画にも利用し、さらなる上映活動の拡充を図っています。

フィルムセンター所蔵作品の公開を中心に、外部団体との共催企画も引き続き模索しつつ、多彩な上映企画の実現を目指します。大ホール・展示室企画ともども、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:

東京外口銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京外口有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル03-5777-8600

NFCホームページ:

<http://www.momat.go.jp/>

NFC携帯電話ウェブサイト:

<http://www.momat.go.jp/nfc/k/>



	金曜日	土曜日	日曜日
10月・11月	2:00pm 1 ジオルジュ・メリエス作品集	0:00pm 4 脱走者	0:00pm 6 沈黙
	6:00pm 2 朝から夜中まで	3:00pm 5 もだえ	3:00pm 3 十月
	2:00pm 9 白痴	0:00pm 8 赤西蠣太	0:00pm 2 朝から夜中まで
	6:00pm 7 路上の靈魂	3:00pm 1 ジオルジュ・メリエス作品集	3:00pm 4 脱走者
	2:00pm 5 もだえ	0:00pm 6 沈黙	0:00pm 8 赤西蠣太
	6:00pm 3 十月	3:00pm 7 路上の靈魂	3:00pm 9 白痴